



脂肪乳剤について

脂質は3大栄養素のひとつでもあり、重要な栄養素です。
糖質、脂質、タンパク質は適正比率で組み合わせる投与が必要不可欠です。
今回は、静脈栄養に用いる脂肪乳剤について、その必要性や投与時の注意点を
紹介します。

必要性・目的

・効率の良いエネルギー補給

脂質は1gあたり9kcalのエネルギーを有します。
これは糖質に比べて2倍以上で、効率の良いエネルギー源
といえます。

・必須脂肪酸の供給

必須脂肪酸は細胞膜やプロスタグランジンの材料として重要な
役割を果たします。脂肪酸を含まない高カロリー輸液を続けて
いると、数週間で必須脂肪酸欠乏症を発症するといわれます。

注意点

・投与速度

投与速度が早いとうまく代謝されず、血中トリグリセリド値が
上昇してしまいます。**0.1g/kg/h**前後が適切とされています。
(当院採用品の**イントラリポス輸液20%100mL**では、
体重50kgの場合で1本4時間となります。)

・配合変化

脂肪粒子の粗大化や凝集が起こることがあるため、基本的に
他の薬剤と混合して投与することは避けます。

・ラインの管理

脂肪乳剤中は微生物が繁殖しやすいため、投与に用いた
輸液ラインは24時間で交換することが推奨されています。



脂肪乳剤の使用頻度は？

10%脂肪乳剤であれば100mL/日、または250mLを1日ないし2日おき
に投与することで、皮膚症状などの必須脂肪酸欠乏症を改善、または予防
することができます。

これを当院採用品に換算すると、おおよそ隔日の投与となります。